

# SHIMADA

第2次島田市総合計画 後期基本計画 [概要版]

2022 ▶ 2025

笑顔あふれる 安心のまち 島田

# 2050年未来の姿

「2050年未来の姿」は、次の世代においても素晴らしい島田市であり続けることを想い、令和3年7月に実施した子育て世代ワークショップ及び高校生ワークショップで考えたアイデアから作成した未来の島田市の姿です。

今あるものを大切に、未来の姿を描き、みんなが行動すれば、きっと楽しくて、おもしろい、笑顔あふれるまちになっています。



地球上でもっとも緑茶を愛する街

島空パークカフェ天空

天空風呂 島空ステーション

TEA-MA-PARK

TEA-POOL

SHIMADA-ci-TEA

メルセデス

緑茶体験

緑茶ハンワ

茶の町

茶摘み体験

茶屋

茶

茶

未来

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

茶

# 基本構想

## 基本理念～これからのまちづくりを進める上の継続性を持った基礎的な考え方～

- ◆ここにしかない「個性」を大切に
- ◆どこよりも「元気」に
- ◆ともに支え合い「協働」して

## 目指す将来像

# 笑顔あふれる 安心のまち 島田

### 将来像に込めた想い

～島田への愛着や誇りを抱きつつ、安全・安心にいきいきと  
笑顔で過ごしていけることを実感できるまち～

## 将来像を実現するための役割

### 「市民」

- ・まちづくりに参加する権利を有し、まちづくり全般に関心を持ち、情報の収集や学習活動を行い市民同士が積極的に交流するなど、まちづくりの主役となります。

### 「事業者」

- ・それぞれの経営理念に基づく事業活動により、安全で良質な商品やサービスを提供し、さらには社会貢献活動を通して地域との信頼関係や協力関係を構築するなど、まちづくりに携わる構成員となります。

### 「行政」

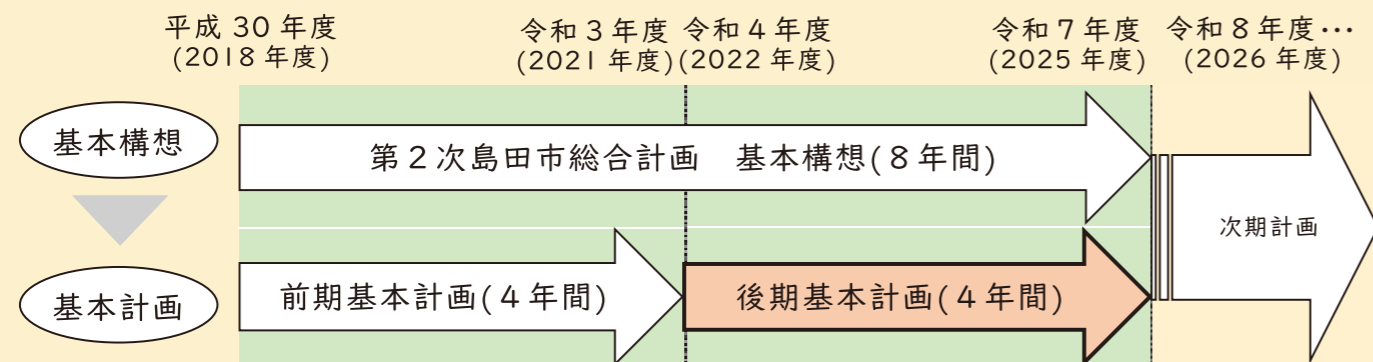
- ・将来像の実現に向け、市民の意向を踏まえつつ施策・事業を選択し、実行します。
- ・まちづくりは市民の手の中にあるという意識を醸成し、市民とともに総合的・計画的にまちづくりを進めます。さらに、財政力・組織力を高め、行財政基盤の強化を図るとともに、複雑多様化する行政課題に効率的・効果的かつ迅速に対応します。

## 政策分野

将来像の実現に向けて、七つの「政策分野」を定め、まちを“キャンパス”に見立てて、市民・事業者・行政が、ともに未来を描いて（具体的な施策を推進して）いきます。



## 計画の構成と期間

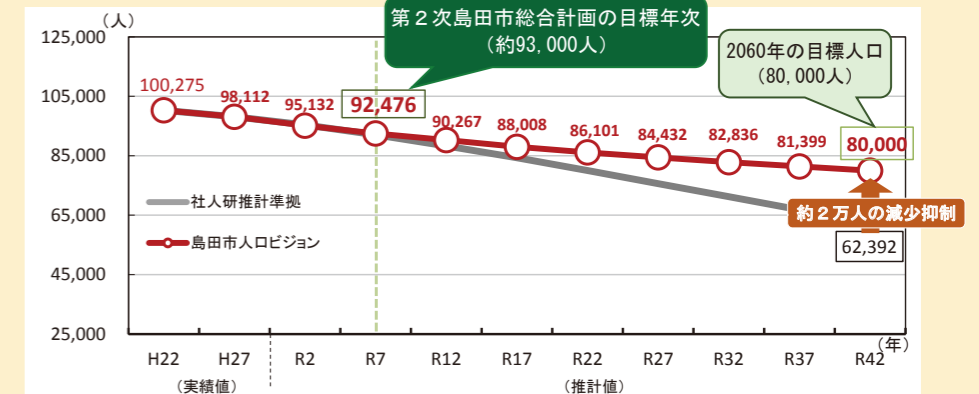


## 目標人口

目標年次 令和 7 年 (2025 年) における 目標人口

# 93,000 人

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの将来展望を前提とする目標



※出典：島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン (令和元年度改訂)

# 未来に向けて

## 未来につなぐ3大戦略

豊かで持続可能な社会をつくり、島田市を次の世代につなげるため、総合計画の計画期間にはとどまらない長期的な視点に立った、市民・事業者・行政が一緒に考え、行動するための指針「未来につなぐ3大戦略」を定めます。

### 1. 循環型社会

#### 今あるものを大切にして、豊かなまちであり続けます

(取り組みの方針)

- ①エネルギーの地産地消・省エネを推進します。
- ②可能な限り資源を地域内で循環させることで経済の好循環を生み出します。
- ③再生産可能な資源である木材の積極的な活用を推進し、「育て・使い・また育てる」の林業のサイクルを回していきます。
- ④空き家や公共施設などのまちのストックを有効に活用し、まちの活力につなげます。
- ⑤歴史や文化といったこのまちの誇る地域資源を未来に残していきます。

### 2. 縮 充

#### 選択と集中で、暮らしの満足度を高めます

(取り組みの方針)

- ①当市の特徴を磨き上げ、個性あるオンリーワンのまちを目指します。
- ②まちづくりは市民の手の中にあるという意識を醸成し、市民とともに暮らしの満足度を高めます。
- ③拠点に集まり効率的に豊かに暮らす「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方に基いたまちづくりを進めます。
- ④行政経営の効率化を進めるために、市民・事業者との対話を踏まえ、事業のスクラップ&ビルドを行います。

### 3. D X

#### デジタルの力で、暮らしを便利に変えていきます

(取り組みの方針)

- ①行政サービス、教育分野、医療分野などにおいてデジタル技術を活用し、市民生活の利便性を向上します。
- ②誰もがデジタルの恩恵を受けられるように、世代や地域による格差の解消を図ります。
- ③商工業や農業、観光などあらゆる分野の産業DXを支援します。
- ④業務のデジタル化の推進や多種多様なデータを活用した市民サービスの提供など行政経営をスマートにします。

# 後期基本計画

## 計画期間における目標

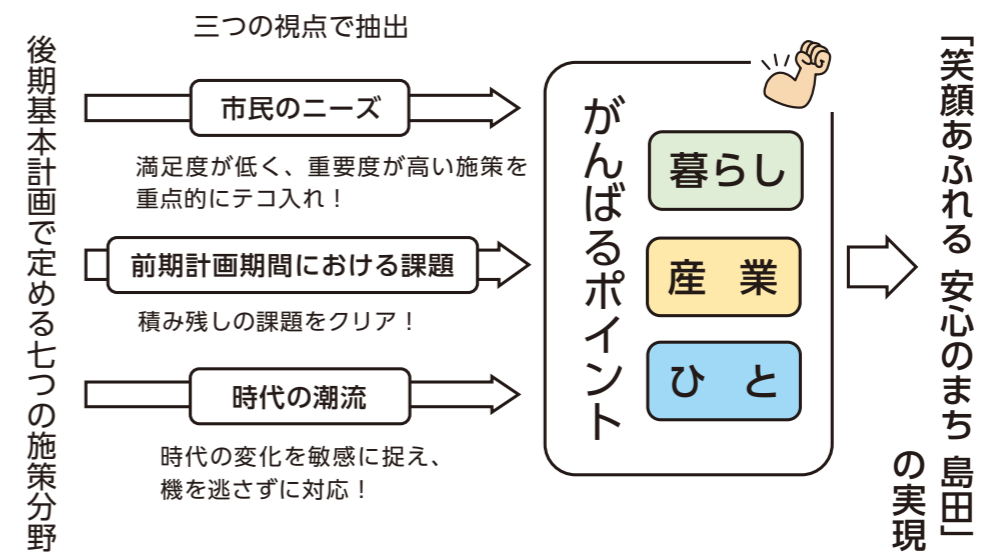
**[全体指標]** 島田市のことが好きな市民の割合

令和7年度(2025年度) 目標値 **81.0%**

令和2年度(2020年度) 基準値 **75.8%**

## がんばるポイント

後期基本計画では、将来像「笑顔あふれる 安心のまち 島田」を実現するため、特に力を入れて取り組む施策を「がんばるポイント」として位置付けます。



### 1. 安全・安心で、楽しく暮らせるまちを創る **暮らし**

- ・あらゆる危機に対応できる危機管理体制の強化
- ・島田市立総合医療センターを核とした地域医療体制の強化
- ・島田第一小学校の改築
- ・過ごしたくなるまちなかづくり
- ・空き家対策の強化
- ・コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進
- ・デジタル技術を活用した市民生活の利便性の向上
- ・市役所新庁舎の建設

### 2. 未来につながるしごとを創る **産業**

- ・企業誘致や中小企業支援による地域産業の創出
- ・生産者や茶商など関係者が一体となった茶業振興
- ・地域資源を活用した観光振興
- ・エネルギーの地産地消・省エネルギーの推進
- ・自然環境の保全と活用

### 3. 人口減少・少子超高齢社会で活躍できるひとづくり **ひと**

- ・共生社会に対する理解促進
- ・子育て環境の更なる充実
- ・1人1台端末を活用したICT教育の充実
- ・生涯学習のための環境整備
- ・移住定住の促進、関係人口拡大に向けた取り組み
- ・未来を担う若い世代との協働

## 後期基本計画の政策分野ごとのポイント

### 政策分野1【防災・福祉・健康】

## 安全で健やかに暮らせるまちづくり

#### ●ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）

・連携体制の構築・強化や地域防災力の向上といったソフト面と、居住空間の安全確保や公共インフラの整備といったハード面からの対策を推進するとともに、危機事態対応の原則「知る」「知らせる」「助ける」「求める」を共有し、ここに住むすべての人の生命と財産を守ります。

#### ●健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）

・市民が病気にならないよう、市民一人ひとりのスポーツ活動等に加え、健康意識を高める取り組みや健康診断を通して、市民の健康づくりを促進します。  
・「島田市立総合医療センター」とかかりつけ医が各々の役割を果たすとともに、連携を図ることで市民の生命と健康を守ります。

#### ●生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす（高齢者・介護）

・一人ひとりの自立した生活と健康寿命の延伸を図るため、介護予防や生きがいづくりを進めます。  
・医療や介護を必要とする状態になっても、誰もが安心して暮らすことができるよう、地域における支え合いの仕組みづくりや関係機関との連携による包括的かつ適切なサービスの提供に取り組んでいきます。

#### ●互いに支え合い、いきいきと幸せに暮らす（地域福祉・障害福祉）

・様々な理由で生活に困窮する人に対し、生活保護に至る前の段階からの支援を充実させていきます。  
・市民一人ひとりが福祉や生活課題について理解を深め、人格や個性、考え方を認め合うことで、誰もが個人として尊重され、自分らしく地域で生活や活躍ができる社会を目指します。



▲防災訓練の様子



▲働く障害者のお店「にじいろ市場」

### 政策分野2【子育て・教育】

## 子育て・教育環境が充実するまちづくり

#### ●子どもを生き育てやすい環境をつくる（子育て）

・「第2期島田市子ども・子育て支援事業計画」に掲げる「子育てしやすいまち パパ・ママに寄り添うまち 子育て応援都市 島田」の実現を目指して、切れ目のない総合的な子育て支援を一層充実させていきます。

#### ●地域ぐるみの教育環境をつくる（学校支援・子ども支援）

・家庭・地域・学校が一体となって地域の教育力向上に取り組むとともに、生活体験や社会体験、自然体験などの学びの機会を創出し、地域の特色を活かした学習を推進していきます。  
・子どもを愛し受け入れ褒めて伸ばすといった「親力」の向上を図ります。

#### ●豊かな心を育む教育を進める（義務教育）

・デジタル社会をたくましく生きていくことができるよう子どもの成長を支援します。  
・安全・安心に学校生活を過ごせるよう、学校施設の適切な管理運営に努めます。

#### ●地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）

・ライフステージに応じた多種多様な学習機会を提供し、学んだ成果を社会活動に役立てることができる場を設けていきます。  
・青少年が地域社会の一員として自立、活躍し、未来の島田を担えるよう、家庭や地域が関わりを持ちながら育てていきます。

#### ●生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）

・子どもからお年寄りまでの誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。



▲はつくら寺子屋



▲島田市こども館の様子

## 政策分野3【経済・産業】

### 地域経済を力強くリードするまちづくり

#### ●地域で働く人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）

- ・起業を志す人のサポートや、多様な働き方の支援、U・I・Jターンの促進による地域経済を支える人づくりに取り組んでいきます。

#### ●世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる（中小企業支援）

- ・中小企業者等の経営革新を支援します。
- ・事業者のデジタルリテラシーの向上を図り、地域経済の発展につなげていきます。

#### ●商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）

- ・中心市街地では、リノベーションによる個性的で魅力的なエリアづくりや公共空間の活用により、居心地が良く、歩くことが楽しくなる「ウォークアブルシティ」を形成し、にぎわいの創出を目指します。

#### ●地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）

- ・歴史ある農林業を次の世代につなげていくために、農地の集積・集約化やICTの活用などを進めることで、持続可能な産業にしていきます。
- ・まちの誇りである「島田のお茶」の素晴らしさを、茶業界に携わる人だけでなく、今一度市民全体で共有し、茶産地島田市を国内外に発信していきます。

#### ●地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）

- ・大井川川越遺跡や蓬萊橋をはじめとした地域資源・観光資源を磨き上げ、その魅力を最大限に引き出すとともに、デジタルマーケティングによる効果的な情報発信により、多くの人々が訪れるまちにしていきます。



▲島田市内で活躍する起業者



▲茶園の風景

## 政策分野4【環境・自然・生活】

### 住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり

#### ●地域循環共生圏を形成する（脱炭素社会・エネルギーの地産地消・循環型社会・環境教育）

- ・2021年に表明した「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、エネルギーの地産地消、省エネルギー、資源のリサイクルやごみの減量を推進します。
- ・環境負荷の低減を市民とともに進めていくことで、今よりも快適で利便性が高い社会を目指します。

#### ●みどり豊かな自然を守り育む（森林環境・農地保全・緑化活動）

- ・「山のみどり」「お茶のみどり」「まちのみどり」が映える空間を大切にしていきます。
- ・農地や森林を適切に管理することで、公益的な機能の維持・回復を図ります。

#### ●水資源と水環境を守る（水環境）

- ・水質の保全はもとより安定的な水量の確保を確実なものとし、当市の恵まれた水資源と水環境を恒久的な財産として、次世代に引き継いでいきます。

#### ●住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）

- ・事故や犯罪に遭うことがなく、市民の誰もが「住み続けたい」と思える良好な住環境の形成に取り組めます。
- ・市民の通勤・通学・通院などを支える公共交通網については、地域の実情に合わせながらよりよい仕組みとなるよう努めます。
- ・性別、年齢、国籍等に関わらず、一人ひとりが尊重され、互いに認め合い、協力して暮らせる社会の実現を目指します。



▲アース・キッズ事業



▲交通安全宣言書提出式

## 政策分野5【歴史・文化・地域】

### 歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり

#### ●培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）

- ・大井川川越遺跡や諏訪原城跡といった歴史資源を、保存するとともに観光資源として活用することで、まちの活力につなげます。
- ・文化活動のすそ野を広げ、文化芸術がもたらす恩恵をすべての市民に届けます。

#### ●島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）

- ・島田市にある素晴らしい歴史資源や観光資源を多くの人に認知してもらい、島田市を訪れる、島田市のものを買うといった行動につなげてもらうために「島田市緑茶化計画」を旗印にシティプロモーションを展開します。
- ・機会を逃さない柔軟な発想を持ち、デジタルなどを活用した効果的な情報発信に努めます。
- ・官民一体となったシティプロモーション活動により、このまちに暮らす人たちの「島田愛」を醸成します。

#### ●誰もが暮らしたい、関わりたい、魅力ある地域をつくる（移住・関係人口）

- ・当市の持つ豊かな自然や、歴史・観光資源、充実した子育て環境などに魅力を感じ、深く関わりたい、暮らしたいと思う人を増やし、大切にしていきます。
- ・中山間地域ならではの魅力を感じ、そこでの暮らしを望む人が、いつまでも暮らし続けられるように、持続可能な中山間地域づくりを目指します。



▲島田市博物館



▲島田市緑茶化計画 緑茶のお菓子

## 政策分野6【都市基盤】

### ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり

#### ●便利で魅力あるまちの拠点をつくる（都市計画）

- ・地域に拠点をつくり、そこに生活サービスや居住を誘導・集約し、拠点間を多様なネットワークで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づき、これからの持続可能な都市構造への転換を目指します。
- ・交通結節点としての優位性を活かした新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺の開発や旧金谷中学校跡地の利活用を進め、魅力あるまちの拠点をつくります。

#### ●安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）

- ・耐用年数を順次迎えている生活道路や上下水道等の社会インフラについて、最小限の投資で最大限の効果が上がるよう計画的に長寿命化や改修といった対策を講じ、市民が安全で快適に生活できる生活基盤を整えます。

#### ●地域と地域の活発な交流を支える道をつくる（幹線道路）

- ・拠点間や交通の要所をネットワーク化するため、幹線道路の整備を進めます。
- ・静岡県や国が管轄する広域幹線道路については、整備が進捗するよう働きかけていきます。



▲整備中の道悦旭町線



▲老朽化した公園施設の更新（中央小公園）

## 政策分野7【行財政】

### 人口減少社会に挑戦する経営改革

#### ●みんなの協力でまちをつくる（市民協働）

- ・市民・事業者・行政がそれぞれの役割を理解し、自分ごととして認識・行動できる地域の主体性を尊重した「協働のまちづくり」を進めていきます。
- ・まちづくりは市民の手の中にあるという意識の醸成に努めます。
- ・これからの島田市を担う若者の力を積極的に取り入れていきます。

#### ●安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）

- ・市民目線で仕事を進めることができる人材を研修制度や人事評価制度の充実を図ることで育成していきます。
- ・成果を分かりやすく伝えるため、行政評価の手法を使い説明責任の向上に努めます。
- ・デジタル変革を力強く推進し市民の利便性向上を図っていきます。

#### ●都市間連携による地域の活性化を進める（広域連携）

- ・効率的な行政サービスの提供へとつながる広域的な協力体制の構築に努めます。
- ・良好な関係を築き上げてきた国内外の都市との交流により、市の魅力を高めていきます。

#### ●公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）

- ・公共施設のあり方を市民と一緒に考え、個々の施設の方針を共有していきます。
- ・公共施設を市民全体の財産として捉え、市民にとって利用価値の高いものとなるよう、公共施設を賢く持って、賢く使っていきます。

## 地域別まちづくりの方向性



都市の将来的な構造や土地利用などを踏まえた、市民生活に身近な地域ごとのまちづくりの方向性を示します。

地域の区分については、以下の要素を踏まえた6地域を設定します。

- 既存の地域コミュニティ等を踏まえた基本単位とします。
- 地形・地物（道路等）や土地の利用状況などの地域特性を考慮します。
- 将来的な都市の開発動向や、地域内外の交流等の状況を考慮します。

## 川根地域

### 《まちづくりのテーマ》

雄大な自然を背景に、多彩な交流と活力を生み出す地域

### 《施策と内容》

- ・桜、温泉、野守の池、パラグライダー等の地域資源を活用し、大井川鐵道を軸に大井川流域全体の回遊促進を図ることで、四季折々の自然を体感できるにぎわいのあるまちづくりを進めます。
- ・地域の魅力を都市圏に向けて発信するとともに、積極的に地域のイベントを開催することで地域への興味・関心を喚起し、関係人口の増加を図ります。
- ・空き家を活用した住居や就業先の確保、子育て・教育、医療、買い物、生活道路等の生活環境を充実することで、多様なライフスタイルに対応可能な住環境を実現し、移住・定住を促進します。
- ・農産物の品質の向上や有機栽培への転換を通じた高付加価値によるブランド化の推進、大井川流域産材の需要の拡大といった施策を進めることにより農林業の振興を図り、農地や森林が持つ多面的機能（カーボンニュートラルへの寄与、景観の維持、生態系を活用した防災・減災等）の維持・発揮を図るための支援や取り組みを推進します。



▲高校生ワークショップ



▲市有地で開催しているマルシェ



▲牛代のみずめ桜



▲抜里駅～川根温泉笹間渡駅を走るSL



# 後期基本計画

## 伊久身・大長地域

### 《まちづくりのテーマ》

水と緑の自然に育まれたふれあい豊かな暮らしやすい地域

### 《施策と内容》

- ・山の家、やまめ平といった豊かな自然環境を体験できる施設の情報を効果的に発信し、交流人口の増加を図ります。
- ・清流や里山といった豊かな自然環境を維持・保全するとともに、ハイキングやキャンプといった活用方法を検討します。
- ・集落間及び中心市街地へのアクセスを容易にする道路網や公共交通の確保に努めます。
- ・統廃合による学校跡地について、地域住民を交えて、地域の活性化や暮らしやすさの向上につながる活用方法を検討します。
- ・梅やみかん、お茶といった地域の特産物を栽培する農業の振興・継承に努めます。また、農地の集積・集約化により、効率的な農業の実現を目指します。



▲島田ゆめ・みらいパーク

## 金谷地域

### 《まちづくりのテーマ》

茶文化を守り伝え、多彩な交流と新たな活力を生み出す地域

### 《施策と内容》

- ・大井川流域観光の玄関口である「KADODE OOIGAWA」と、これに併設した観光案内所「おおいなび」を中心に、豊かな歴史・文化などの地域資源、観光資源を活用しながら、多くの人が訪れるにぎわいのあるまちを目指します。
- ・交通結節点としての優位性を更に高めるため、国道1号及び国道473号の4車線化をはじめとする広域幹線道路の整備を関係機関に働きかけるとともに、快適な地域内交通を確保するため、生活道路の整備を進めます。
- ・新東名島田金谷インターチェンジ周辺の優れた立地特性、豊かな大井川の水資源を活かした企業誘致により、活力のあるまちづくりを進めます。
- ・里山風景や大茶園のパノラマなどを活かした美しい景観づくりに努めます。
- ・金谷地区生活交流拠点を中心とし、健康づくりや子育て支援といった日常生活に関連する機能の集積を進めるとともに、拠点への移手段の確保を図ります。



▲ KADODE OOIGAWA

## 旧市内・大津地域

### 《まちづくりのテーマ》

大井川の恵みと交通の利便性を活かした、人々が出会い歩きたくなる地域

### 《施策と内容》

- ・中心市街地については、多くの人が暮らし、過ごしたくなり、働くことができるまちづくりを進めます。また、道路や公園などの公共空間を利活用することによって魅力ある場所として磨き上げ、居心地が良く歩きたくなる空間を創出します。
- ・医療機能をはじめ福祉や子育て支援機能を充実するほか、生活に身近な道路の改修による安全で快適な道路網の確保や移動ニーズに合わせた公共交通の確保により、多世代が生活しやすい快適な居住環境の形成を目指します。
- ・自然環境を保全するとともに、急傾斜地の災害対策や河川の治水対策を推進することで、豊かな自然の中で安全・安心に生活できる環境を整備します。
- ・歴史・文化などの地域資源、観光資源の保全・活用を図り、景観づくりにも配慮しながら地域の魅力を高めます。



▲蓬萊橋 897.4 広場

## 六合地域

### 《まちづくりのテーマ》

緑がうろう多様な世代が交流する暮らしやすい地域

### 《施策と内容》

- ・六合駅や六合公民館といった地域拠点を中心に、医療・福祉・商業・子育て支援施設などの都市機能の誘導を図り、活発な地域コミュニティ活動等を活かした、多世代が交流する暮らしやすいまちづくりを進めます。
- ・地域内を東西、南北に走る幹線道路の利用実態に即した整備を進めるとともに、関係機関への働きかけをすることで、利便性と快適性の高い道路ネットワークを形成します。
- ・通学路となる生活道路、幹線道路の歩行空間などの整備により、安心して歩けるまちづくりを進めます。
- ・森林や河川、大津谷川や栃山川沿いの桜並木といった自然環境を大切に保全し、緑豊かなまちづくりを進めます。



▲六合駅

## 初倉地域

### 《まちづくりのテーマ》

緑と歴史が調和した、活発な交流を生み出す地域

### 《施策と内容》

- ・富士山静岡空港や東名高速道路など、広域交通拠点としての特性を活かした都市基盤の整備や企業・商業施設の立地を進めます。
- ・富士山静岡空港、東名高速道路及び市内中心部につながる幹線道路や、それらを補完する生活道路の整備を進め、交流と活力を生み出す都市基盤の充実を図るとともに、地域の安全性・快適性を確保します。
- ・牧之原台地に広がる茶畑を保全・整備するとともに、大茶園を活かした特色ある景観形成により観光資源として活用を図ります。
- ・初倉公民館を地域拠点の中心として、医療・福祉・商業・子育て支援といった都市機能の誘導を図り、便利で暮らしやすいまちづくりを進めます。



▲初倉公民館

地域別まちづくりの方向性については、その地域にお住まいの方にご参加いただいたワークショップでのご意見を参考にしています。



# この計画は、市民の皆様とともにつくりました。

## 《事業者ヒアリング》

令和3年2月～5月に、市内の事業者16者の皆様に協力いただきました。島田市の未来を想ったご意見をたくさんいただきありがとうございました。

## 《地域別ワークショップ》

令和2年10月～令和3年6月に、各地域にお住まいの145人の皆様に協力いただきました。地域の今のこと、これからのことについてたくさんのご意見をいただきありがとうございました。

## 《高校生アンケート》

令和2年9月に、市内5高校に通学している2年生353人の皆様に協力いただきました。高校生ならではの意見をたくさんいただきありがとうございました。

## 《市民意識調査》

毎年度約1,000人の方にアンケートに協力いただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

## 《子育て世代ワークショップ》

令和3年7月に、現在子育て中の25人の皆様に協力いただきました。島田市の今後の子育て環境について、たくさんアイデアをいただきありがとうございました。いただいたアイデアの一部は、表紙裏にある「2050年未来の姿」に反映しています。

## 《高校生ワークショップ》

令和3年7月に、市内5高校に通学している高校生28人の皆様に協力いただきました。夢いっぱいの未来の島田市を描いていただきありがとうございました。描いていただいた未来の島田市は、表紙裏にある「2050年未来の姿」に反映しています。



一人ひとりの想いと行動が  
まちの未来をつくります。

## 「第2次島田市総合計画 後期基本計画 概要版」

発行：島田市 編集：島田市市長戦略部戦略推進課  
住所：〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1  
TEL 0547-37-5111 (代表) FAX 0547-37-8200  
発行年月：令和4年3月